

中1の4人に1人は習い事や部活について毎日ネットで調べると回答

株式会社NTTドコモ モバイル社会研究所

◆ポイント◆

- ・中1の4人に1人は習い事や部活について調べるために毎日ネットを利用。
- ・小学生ではスマホ利用者の方が習い事や部活についてネットで調べると回答。

1. 調査結果：習い事や部活についてインターネットで調べたり動画をみる頻度 —中1の4人に1人は習い事や部活について調べるために毎日ネットを利用—

小中学生はどういう目的でインターネットを利用しているのでしょうか。前回のレポートで小中学生はインターネットや動画の利用が多い一方で、学年が上がるに伴い学校や塾の宿題での利用にも活用しているとお伝えしました。今回は習い事や部活について、インターネットで調べたり動画をみる頻度を小中学生自身に伺った結果をご紹介します。

まず、「習い事や部活についてインターネットで調べたり動画をみる」と答えた子どもは、小1～小3が1割以下ですが、小4になると3割程に拡大し、中1で約6割に拡大していました。また、毎日利用する子の割合は、小学生は5%以下ですが、中1になると25%に拡大していました。

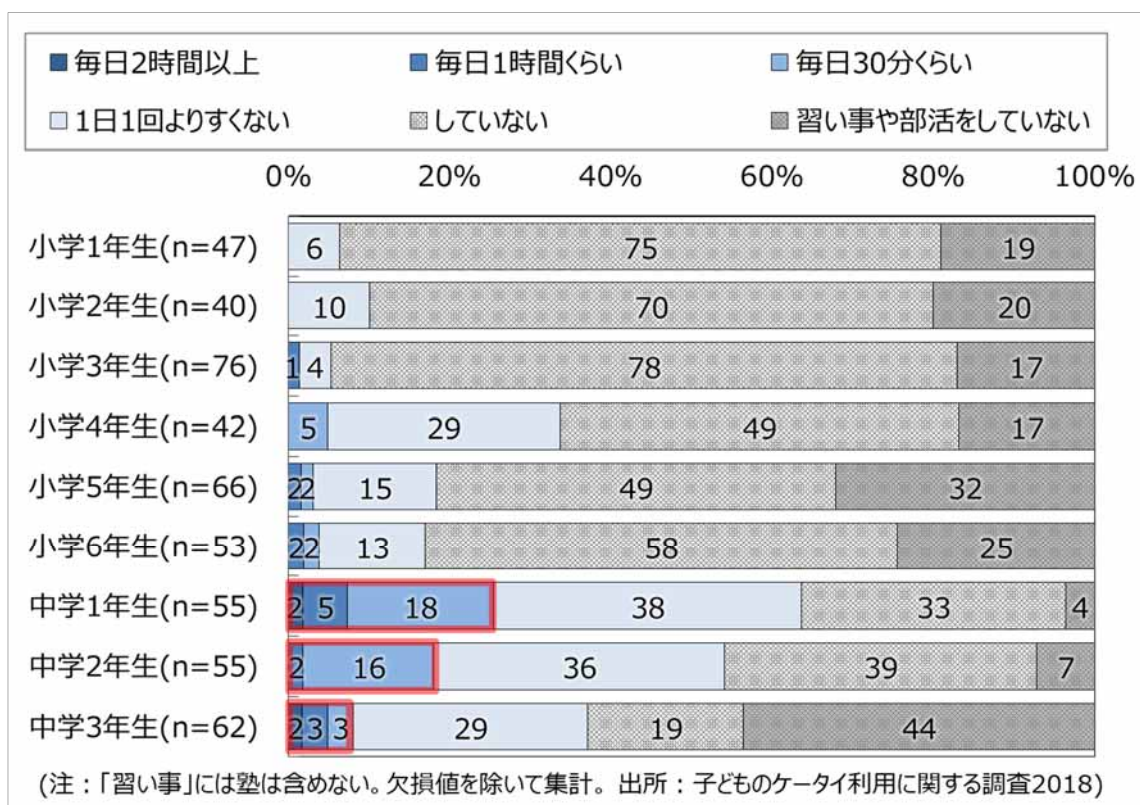


図1. 習い事や部活についてインターネットで調べたり動画をみる頻度(SA・学年別)
[調査対象：関東1都6県在住の小中学生]

スマホ利用者と未利用者で比較したところ、「習い事や部活についてインターネットで調べたり動画をみる」と答えた子どもは小1～小3では6ポイント拡大、小4～小6では10ポイント拡大していました。その一方、中学生ではスマホ利用有無による大きな差は見られませんでした。

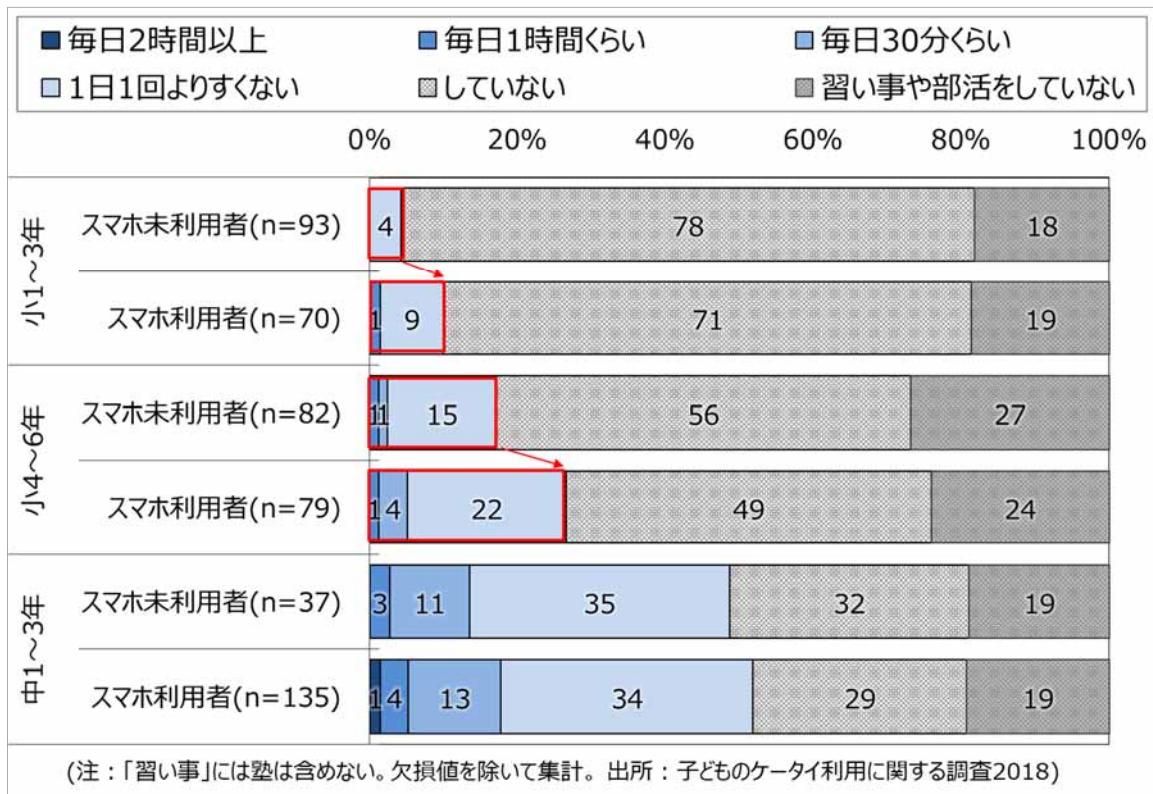


図2. 習い事や部活についてインターネットで調べたり動画を見る頻度(SA・学年別・スマホ利用有無別)
[調査対象：関東1都6県在住の小中学生]

2. 調査概要 —子どものケータイ利用に関する調査 2018—

調査方法	訪問留置調査
調査対象	関東1都6県に在住する小中学生の子どもとその保護者
有効回答数	500組の親子
サンプリング	層化二段抽出[クォータサンプリング法(都市規模別性年代)] 7~15歳の都市規模別人口構成比に応じて、町丁目(50地点)を比例配分して抽出し、抽出された町丁目において、7~9歳、10~12歳、13-15歳の都市規模別性年代人口構成比に応じて個人を割り当て、該当者をランダムウォーク法で抽出
調査時期	2018年9月

小中学生の方が安心・安全にスマホを利用していただくためのガイドや、スマホ・ケータイ安全教室のご案内を下記のURLで公開しています。ぜひご家庭・学校でご活用下さい。

<<https://www.nttdocomo.co.jp/corporate/csr/safety/>>

■問い合わせ先

詳細なデータ、質問項目など、ご不明な点がございましたら、下記までご連絡ください。
株式会社NTTドコモ モバイル社会研究所 msri-inq-ml@nttdocomo.com